

事業報告書 (平成 30 年度)

事業名 「一人の百歩より 百人の一步」プロジェクト

団体名 岡山県立高松農業高等学校「高農環境を考える会」 担当者名 坪 弘 文

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

①スイゲンゼニタナゴ生息環境保全事業(用水路の清掃)

5月13日(日) 8:00～ 高縄手用水路 生徒4名参加
9月17日(月) 8:00～ 高縄手用水路 生徒2名参加

②近隣小学校との環境交流学习

加茂小学校4年生と「調べよう加茂の環境を」をテーマに環境交流学习を実施

5月24日(木) 交流学习打ち合わせ
6月6日(水) 足守川の水質調査 生徒21名参加
6月27日(水) 水生生物について 生徒21名参加
9月19日(水) 足守川の水質調査 生徒20名参加
10月3日(水) 水生生物について 生徒20名参加
12月11日(火) 交流学习発表会・意見交換会 生徒19名参加

③公民館との連携

7月14日(土) 高松公民館「水辺教室」 中止

④パネル等による活動発表

10月28日(日) 高松まほろば祭り(高松城址公園) 生徒1名参加
活動紹介パネル・アンケート調査
11月4日(日) まちはなフェア(下石井公園) 生徒4名参加
活動紹介パネル・ミニ水族館・アンケート調査

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

・自分で感じ、考え、行動する力

展示内容やブースのレイアウトを考え、積極的に行動することができた。

(ブース内でのアンケート、さらにブース外に足を運びイベントに参加された方へのアンケート活動・広報活動を積極的に行うことができた。)

・気持ちや考えを伝えあい表現する力

加茂小学校4年生と「調べよう加茂の環境を」をテーマに、足守川の水環境調査を行うことで、お互いの考えや気持ちを交流する事ができていた。

・他者と協力して物事を進める力

地域の方、専門家の方から「スイゲンゼニタナゴ」の保護や生息環境保全の方法の指導を受けた。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

- ・スイゲンゼニタナゴを繁殖・保護することを通して、身近な環境を見つめ直すことができた。
- ・コミュニケーションが苦手な生徒が多いが、活動に参加した生徒は活動発表やアンケート活動を通してコミュニケーションの取り方を学習できたと思う。生徒を主とした活動場面を増やしていきたいと思った。
- ・水質調査や水生生物調査などを通して、調査の方法や調査結果をまとめ、考察する力が身に付いたと思う。
- ・小学生に教えることで同じ目線で見つめ、考えることができた。
- ・日常で取り組んでいる内容や結果を小学生に伝えることで、自分たちの学習が深化し、活動への理解や自信が深まった。

4. 今後の課題と展望

- ・積極的に活動内容の発表やパネル展示の場に参加した。今後は、高松地区に希少な生物がいること、高松農業高等学校が希少な生物を保護・繁殖をしていることを広範囲に発信していきたい。
- ・地域の方や環境保全・保護活動を実施されている団体と「高農環境を考える会」の連携を図り、ネットワークを拡大し情報交換を実施したい。
- ・夏休みなどの長期休業中を活用し「高農水辺教室」、出前講座などを定期的で開催し、多くの子どもたちに地域の自然に触れてもらいたい。

平成30年度岡山ESDプロジェクト 実施状況

高松農業高等学校「高農環境を考える会」

その1

スイゲンゼニタナゴ生息環境保全事業

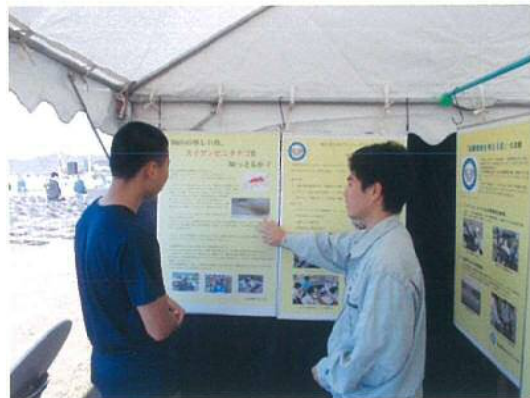


5月13日(日)



9月17日(月)

パネル等による活動発表



高松まほろば祭り
10月28日(高松城址公園)



まちはなフェア
11月4日(下石井公園)

近隣小学校との環境交流学習



足守川の水質調査①



足守川の水質調査②



足守川の水質調査③



水生生物調査①



水生生物調査②



水生生物調査③



発表会・意見交換会